ＩＳＳＮ 0285－4767

北海道考古学会だより

第　117　号
２０１７．３．10

目　次

2017年度　北海道考古学会総会・研究大会の開催について……1
2017年度総会について……1
学会運営委員の改選―運営委員の推薦について……1
監査委員の改選―監査委員の推薦について……3
会誌編集委員の改選―編集委員の推薦について……3
2017年度研究大会「歴史・民族・言語研究と北海道考古学」……4
2016年度　遺跡調査報告会の実施報告……5
月例研究会のお知らせ……5
会誌編集委員会からのお知らせ……5
事務連絡……6
総会出欠票返信のお願い……6
アンケートにご協力ください……6
住所・所属変更について……6
会費納入についてのお願い（会費未納会員への対応）……6

2017年度　北海道考古学会総会・研究大会の開催について

2017年度　総会について

2017年度総会を研究大会の昼食休憩前に、同一会場にて開催します。総会は会員が会の運営に直接参加する重要な機会であり、また今回は運営委員の改選期にあたりますので、多くの会員の出席を期待します。なお、やむを得ず欠席される予定の会員は、４月13日(木)(事務局必着）までに必ず委任状を提出されるようお願いいたします。

日　時：2017年５月13日(土)　11：30～12：30
会　場：北海道大学学術交流会館　小講堂（札幌市北区北８条西５丁目）

学会運営委員の改選ー運営委員の推薦についてー

北海道考古学会会則第６条、委員および委員会規則第２条、および北海道考古学会委員公募細則に基づき、2017年度から2018年度の北海道考古学会運営委員を下記のとおり推薦願います。

規則第５条および第６条の規定により、地域委員10名、運営委員16名以内が会員の推薦を受け、総会で選出されます。北海道考古学会地区別会員名簿から５名までの会員を運営委員、所属する地区より１名を地域委員として、同封のハガキまたは同様式に準じた封書等にて、事務局までご推薦ください。

１．推薦期間　2017年４月13日(木)　（事務局必着）まで
２．推薦対象外会員
　会則及び規則により委員となることの出来ない会員は次のとおりです。この会員の推薦は無効となります。
　地域委員　三谷智広（第５地域)、森久大（第６地域)、林勇介（第７地域）
　　出穂雅美（第10地域）
　運営委員　大島直行、澤井玄、高瀬克範、酒井秀治、村本周三、鈴木将太、坂本尚史、田代雄介
３．再任対象会員
　現委員のうち、会則および規則により、継続再任が出来る会員は次のとおりです。
　地域委員　小川康和（第３地域)、大谷茂之（第４地域)、猪熊樹人（第８地域)、

冨樫那美（第９地域）
運営委員　　菅野修広、大坂拓、小野裕子、永谷幸人、坂梨夏代
なお、委員選任に関する規則を下記に抜粋掲載します。

会則　（関係部分）
第６条　本会に次の役員をおきます。
（1）会長　　１名
（2）副会長　　１名
（3）地域委員　10名以内
（4）運営委員　16名以内
（5）監査委員　２名
２　地域・運営・監査委員は、会員の推薦を得て総会で選出し、正副会長は委員の互選により決定します。
３　会長は本会を代表し、副会長は会長を補佐します。地域委員は地域を代表し運営委員は本会の運営実務を担当し、監査委員は本会の会計を監査し総会に報告します。
４　委員の任期は１期、２ヶ年とします。ただし、２期、４ヶ年までの継続再任が出来ます。

北海道考古学会委員公募細則
（目的）
第１条　この細則は、北海道考古学会規則第１号「委員及び委員会規則」（以下、規則という。）２条で規定する委員の選出方法について定めることを目的とする。
第２条　委員は会員の推薦により委員会が候補者を選定し、総会で決定する。
（推薦）
第３条　会員は、「地域委員」を規則第４条別表１の所属する地域に限り、その所属する地域の会員の中から１名を推薦できる。また「運営委員」を会員の中から５名を限度に推薦できる。
（推薦様式）
第４条　会員からの推薦は、様式１にて行う。封書、葉書およびFAXにて受け付ける。
（委員選出）
第５条　委員選出の手続きは次のように行う。
１）公　示　　文書、だより等で総会の２ヶ月以上前に。
２）受　付　　総会の２ヶ月前から１ヶ月前まで事務局で。
３）集計審査　　受付終了直後、事務局で。
４）候補者選定　（委員会決定）総会直近の委員会で。
５）候補者公開　総会開催日までに。
６）委員選出　　総会議決。
（候補者選定）
第６条　会員推薦に基づき委員会での候補者選定は次のように行う。
１）地域委員　イ審査　被推薦者が会員で所属地域居住者であること。委員辞任後、２ヶ年以上経過した会員であること。
ロ集計　地域、被推薦者毎に。
ハ候補者選定　地域毎に最大数の推薦を得た会員より順次本人の承諾を得て、１名を選定する。
２）運営委員　イ審査　委員辞任後、２ヶ年以上経過した会員であること。
ロ集計　被推薦者毎に。
ハ候補者選定　最大数の推薦を得た会員より順次、本人の承諾を得て、定期改選時は16名以内、臨時改選時は欠員数を選定する。

委員および委員会規則　（関係部分）
（選出方法）
第２条　委員は、会員による推薦などの公募手法により候補者を選出し、総会で決定する。
（任期）
第３条　委員の任期は１期、２ヵ年とする。ただし、２期、４ヵ年までの継続再任ができる。
（区分）
第４条　委員は、別表１に定める地域を代表する「地域委員」と実務を担当する「運営委員」とに分かれる。
（定義）
第５条　地域委員の定数は、別表１に定める地域毎に１名とする。ただし、第１地区および第２地区からは選出しない。運営委員は別表２に定める業務を担当し、16名とする。

第５条　別表１　地域委員選出地域表

地区名	所属範囲
第１地区	札幌市
第２地区	石狩管内
第３地区	後志管内
第４地区	渡島桧山管内
第５地区	日高胆振管内
第６地区	空知上川留萌宗谷管内
第７地区	網走管内
第８地区	十勝釧路根室管内
第９地区	東北地方管内
第10地区	本州地区（東北地方を除く）管内

別表２　運営委員業務担当表

業務名	業務内容	定数
会長	会代表、委員会議長	1
副会長	会長補佐	1
総務	総会開催、会庶務業務	２以内
会計	会計事務	２以内
会誌	編集委員、会誌発行業務	2
だより	だより発行業務	２以内
研究会	研究大会、月例研究会業務	２以内
見学会	遺跡見学会業務	２以内
報告会	遺跡発掘調査報告会業務	２以内

監査委員の改選ー監査委員の推薦についてー

会則第６条の３の規定に基づき、2017年度から2018年度の「監査委員」を下記のとおり推薦願います。北海道考古学会地区別会員名簿から、２名までの会員を監査委員として、同封ハガキまたは同様式に準じた封書等にて、事務局までご推薦ください。

１．推薦期間　2017年４月13日（木）　（事務局必着）
２．推薦対象外会員
　現委員のうち、会則および規定により継続再任が出来ない会員は次のとおりです。この会員の推薦は無効となります。
　園部真幸
３．再任対象会員
　現委員のうち、会則および規定により継続再任が出来る会員は次のとおりです。
　工藤義衛

会誌編集委員の改選ー編集委員の推薦についてー

会則第９条の３および北海道考古学会会誌編集委員会設置要綱（以下「要綱」）２の１の規定に基づき、2017年度から2018年度の「会誌編集委員」を下記のとおり推薦願います。会誌編集委員会は、会員の中から推薦された５名（１号委員）と、運営委員会の会誌担当委員（２号委員）により構成されます。北海道考古学会地区別会員名簿から、５名を会誌編集委員として、同封ハガキまたは同様式に準じた封書等にて、事務局までご推薦ください。

なお、委員への委嘱は会長が行います。

北海道考古学会会誌編集委員会設置要綱　（関係部分）
2.組織
1）　編集委員会は､会員の中から推薦された５名（１号委員）と運営委員会の会誌担当委員（２号委員）２名との７名の委員により構成され、北海道考古学会会長が委嘱する。
2）　編集委員会に編集委員長および副編集委員長各１名を委員の互選により置く。
3）　編集委員の任期は運営委員に準ずる。

1．推薦期間　2017年４月13日(木)　（事務局必着）
2．推薦対象外会員
現委員のうち、要綱により継続再任が出来ない会員は次のとおりです。この会員の推薦は無効となります。
臼杵勲、越田賢一郎、角田隆志
3．再任対象会員
現委員のうち、会則および規定により継続再任が出来る会員は次のとおりです。
高橋理

2017年度研究大会「歴史・民族・言語研究と北海道考古学」

近年アイヌ史を巡っては、考古学のみならず、文献史学・民族学・言語学などの成果を取り込みつつ、交易に焦点を絞った時代像の提示、新たな時期区分の提唱などが盛んになっています。また、2020年には北海道初の国立博物館となる国立アイヌ民族博物館が開館することになり、歴史展示に北海道考古学の成果がどのように反映されるのか注目を集めています。

そこで、文献史学・言語学など各分野から近年のアイヌ史研究の到達点をご紹介いただき、北海道考古学との接点を探りたいと考え、以下の通り研究大会を開催いたします。

日　時：2017年５月13日(土)　10：00～17：10
会　場：北海道大学学術交流会館　小講堂（札幌市北区北８条西５丁目）
テーマ：「歴史・民族・言語研究と北海道考古学」
内　容：９：30　開　場
10：00～10：20　開会挨拶　趣旨説明
10：20～11：20　大坂　拓氏（北海道博物館）
「物質文化研究と考古学の接点」
11：20～11：30　休　憩
11：30～12：30　北海道考古学会総会
12：30～13：00　昼休み
13：00～14：00　田村将人氏（東京国立博物館）
「国立アイヌ民族博物館の歴史展示」
14：00～15：00　奥田統己氏（札幌学院大学）
「近年のアイヌ史研究における口承文芸／言語資料の取り扱い」
15：00～15：10　休　憩
15：10～16：10　谷本晃久氏（北海道大学）
「アイヌ史の時代区分を考える」
16：10～17：10　質　疑　　司会：高瀬克範氏（北海道大学）
17：10　閉会挨拶

※発表のタイトル及び順番は変更される場合がありますので、あらかじめご了承ください。
※資料代として1,000円を申し受けます。
※会員の他、道民カレッジ受講生や一般の方も参加可能です（総会は会員のみ参加可能)。
※研究大会閉会後、下記の通り懇親会を行います。お申し込みは当日承ります。
会　場：アパホテルTKP札幌駅北口（banquet SanRemo　札幌市北区北10条西３丁目）
会　費：4,000円（予定）

2016年度遺跡調査報告会の実施報告

今年度の遺跡調査報告会は、2016年12月10日（土）に、北海道大学学術交流会館にて開催されました。本年道内で行われた発掘調査は60件で、その中から13遺跡・９件が報告されました。

今年度は旧石器時代から明治時代にかけて幅広い時代が対象となりました。新得町屈足遺跡では湧水跡とエゾシカの足跡からヌタ場を推定し、同地域のなかでの動物の生態と遺跡（狩り場・集落）の在り方を復元する興味深い報告がなされました。また、文献記録に残る遺跡の貴重な調査例として、様似町山中遺跡からは明治期の山道に敷設された旅籠屋の発掘成果が紹介されました。このほか、アイヌ文化期の漁具の出土例（千歳市根志越５遺跡）、縄文中期末～後期初頭の大規模な集落跡の調査（根室市別当賀一番沢川遺跡）などが当日の会場を賑わしました。

貴重なお時間を割きご準備いただいた発表者の方々に重ねて感謝申し上げます。なお、報告会終了後には恒例の懇親会が催され、和やかな雰囲気のなか、情報交換と交流が行われました。

【発表遺跡】
① 新得町　屈足17遺跡
② 厚真町　オニキシベ３遺跡・上幌５遺跡
③ 様似町　冬島遺跡・山中遺跡
④ 千歳市　根志越５遺跡
⑤ 根室市　別当賀一番沢川遺跡
⑥ 上士幌町　嶋木遺跡
⑦ 伊達市　若生貝塚・カムイタプコプ下遺跡
　室蘭市　絵鞆貝塚
⑧ 函館市　石川３遺跡
⑨ 礼文町　浜中２遺跡

月例研究会のお知らせ

【今後の予定】

【第８回（卒論報告会）】2017年３月18日（土）　15：00～
北海道大学　人文・社会科学総合教育研究棟５階　W517教室
岡田　原（北海道大学４年）「涌元式土器の研究―館野遺跡出土資料の分析を通して―」

※内容などの詳細は、決定次第、北海道考古学会ホームページでお知らせいたします。
※会員の皆様で、月例会での研究発表を希望する方は北海道考古学会事務局（hokkaidokoukogakkai@yahoo.co.jp）までご一報ください。

会誌編集委員会からのお知らせ

会誌第53輯の内容

『北海道考古学』第53輯　（2017年３月31日発行予定　総頁数176頁）
特集：北海道における貝塚研究の現在地
西本豊弘「北海道の縄文時代の貝塚研究」
永谷幸人「北海道噴火湾沿岸の縄文貝塚と集落の動態」
三谷智広「貝塚における狩猟・漁労活動の季節性復元―その研究と北海道における現状―」
青野友哉「北海道噴火湾沿岸における縄文貝塚の貝種組成からみた環境変遷（予察）」
新美倫子「貝塚における年代測定の成果と問題点―海洋リザーバー効果の利用―」
福井淳一「北海道出土骨角器の変遷」
一般論文
藤原秀樹「北海道の土器埋設遺構について」
高瀬克範「石狩紅葉山49号遺跡出土剥片石器の使用痕分析」
小杉　康「続縄文期初頭の土器群構成について　―土器群構成分析法のすすめ（上）―」
研究ノート
田代雄介「道内における擦文文化期の^{14}C年代モデル」
2016年度研究大会報告（村本周三）
投稿規定・体裁（2017年度版）

事　務　連　絡

総会出欠票返信のお願い

2017年度北海道考古学会総会の開催にあたり、出欠確認と運営委員推薦のための返信葉書を同封しております。各項目にご記入の上、必ずご返信くださいますようお願いいたします（４月13日事務局必着）。

アンケートにご協力ください

北海道考古学会では、インターネットを活用し情報発信を充実させていきたいと考えております。そこで、今後の参考とさせていただくためにインターネット環境の有無についての実態調査を実施します。同封の返信葉書（総会出欠票）下段のアンケートにご回答いただき、事務局までご返信ください。会員の皆様のご協力をお願いいたします。

なお、ご回答いただいた情報及び個人情報は本調査の目的以外には使用しません。

住所・所属変更について

住所・所属に変更のある会員は、速やかに事務局にご連絡くださいますようお願いいたします。ご連絡のない場合、刊行物の発送が滞ることがありますのでご注意願います。総会出欠票に新住所・所属を記載していただく場合は、変更のある旨を欄外に明記してください。

会費納入についてのお願い

会の運営には、会員の皆様のご協力が不可欠です。会費の年度内納入にご協力いただきますようお願い申し上げます。また、本年度を除く過去３年以上の会費を納入されていない会員には、北海道考古学会誌を送付しておりません。会費納入を確認後、送付いたします。

郵便局口座番号：02770−6−8358　　加入者名：北海道考古学会
年会費：（一般）5,000円　（学生）3,500円

【会費未納会員への対応】

会費の未納がある会員は速やかに学会事務局までご連絡いただき、会費を納入してください。なお、場合により運営員会から直接ご連絡を差し上げることがありますのでご了承ください。

北海道考古学会だより　　第117号　　2017年３月10日　発行
発行所　北海道考古学会（ホームページ：http://haa.main.jp/cms/）
事務局：〒059−0014　北海道登別市富士町７丁目33−1
登別市教育委員会　社会教育グループ気付　北海道考古学会事務局
TEL　：(0143)88−1129
FAX　：(0143)85−9744
E−mail：hokkaidokoukogakkai@yahoo.co.jp
印　刷　北海道図書企画　　(011)668−1131